

2024年3月1日

Value Management Innovation

株式会社ブイ・エム・アイ総研

## 「活・人・経・営<sup>®</sup>」コラム第103回

### <波乱の時代を生き抜く条件>

今年は新年早々、能登半島を中心にして大規模な地震が発生しました。私たちは突然やってくる大きな自然災害を予知することは難しく、そのたびに尊い生命や多くの損害を被っています。被災地の速やかな復興を願うばかりです。

ビジネスに於いても突然世界中の国々を巻き込んだ COVID-19 対策で、3年以上もの期間、多くの人や企業が打撃を受けてしまいました。ちなみに2023年の日本企業倒産件数は対前年比で35%増となり、東京商工リサーチによると2015年以来8年ぶりの高水準です。コロナ禍対策の補助金が切れて息切れした企業や、後継者難で事業継続を自らあきらめた企業が年間件数で過去最多を更新していることなどが特徴です。

自然災害のように予測しにくい突然の外的変化や、絶えまなく変化し続ける予測可能な経営リスクに敏感に反応しつつ、サステナブル（持続可能性）を意識する企業が増えてきました。変化に対応できる仕組みづくりや、新しい時代を担う社内人財の育成などが喫緊の共通課題となっています。

一方で、長期存続のお手本となってきた優良企業でも、緊張感が薄れて油断をすると大企業病やゆでガエル現象を生じ、今迄築いてきた信頼を瞬時に損なうような不祥事を発生させる内的リスクも無視できません。

### <反応性・強靱性・弾力性の高い組織が生き延びる>

企業の究極の目標は、反応性・強靱性・弾力性の高い組織づくり、つまり、生存し、繁栄する能力のある組織づくりである。 ～途中略～

- 反応性**とは、外的刺激にすばやく反応できる資質である。
- 強靱性**とは、ストレス、プレッシャー、やり方や環境の変化に耐えられる資質、つまり、環境に対処する上で、機能性の損害・変更・低下を最小限に抑えながら、さまざまな変化（時に予測不可能な変化）にうまく対処できる力のことである。
- 弾力性**とは、曲げたり、縮めたり伸ばしたりした後に、元の形状や元の場所に戻ることができる資質のことで、企業の場合は、再起や回復の力がある事である。

― 出典：「カオティック」フィリップ・コトラー、

ジョン・A・キャスリオーネ共著 齊藤慎子訳―